

Title: 「明日はどっちだ」



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～



徳田 敬太
Keita Tokuda 1985年
生まれの食べがかり。
世界という大海へ向け、今、旅立とう
としています。

● 最近のエントリー

- 📅 [イングランド 2](#)
(2010.06.29)
- 📅 [イングランド 1](#)
(2010.06.28)

● アーカイブ

- 📅 2010年10月
- 📅 2010年09月
- 📅 2010年08月
- 📅 2010年07月
- 📅 2010年06月
- 📅 2010年05月
- 📅 2010年04月
- 📅 2010年03月
- 📅 2010年02月
- 📅 2010年01月
- 📅 2009年12月
- 📅 2009年11月
- 📅 2009年10月
- 📅 2009年09月
- 📅 2009年08月
- 📅 2009年07月
- 📅 2009年06月
- 📅 2009年05月
- 📅 2009年04月
- 📅 2009年02月
- 📅 2009年01月
- 📅 2008年12月
- 📅 2008年11月
- 📅 2008年10月
- 📅 2008年09月
- 📅 2008年08月
- 📅 2008年07月
- 📅 2008年03月
- 📅 2007年11月
- 📅 2007年10月
- 📅 2007年08月
- 📅 2007年06月
- 📅 2007年05月
- 📅 2006年10月
- 📅 2006年09月
- 📅 2006年08月
- 📅 2006年07月
- 📅 2006年06月
- 📅 2006年05月
- 📅 2006年04月
- 📅 2006年03月

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

明日はどっちだ > 2010年06月 アーカイブ

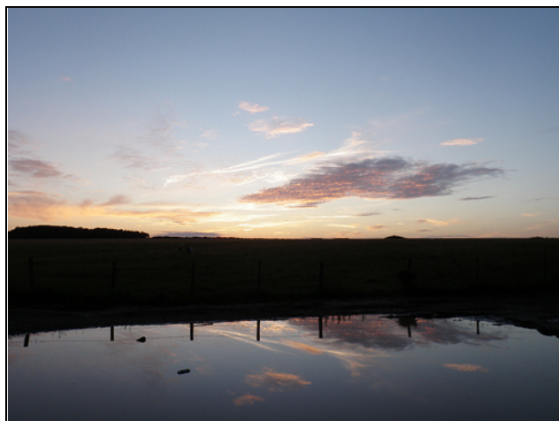
10.06.29

イングランド 2

そして、夏至前日の夜が更けていきます。

時すでに夜の9時30分。

マレーシアタイムである自分の身体はこの夜なのに夕焼け、
がどうも慣れません。。
自らの内なる声で自分の身体に向かって、
おいおい、知ってた？もうすでに夜の9時半なんだよ。
って確認しないと感覚と合いません。



軽い荷物チェックをしたりして、ストーンヘンジ環状遺跡の中へと入って行きます。

悠久の時を5000年さかのぼり、
どこぞの誰か、いったい何の為に建造したか分からぬ石たち。
彼らの宗教観、自然との関わり、
日本人と似ていたのでしょうか？
それともやはり、よ、妖精たちが？ ドワーフ？

きっと太古の人々の熱き強い想いが深く、この環状遺跡に乗っているのでしょう。

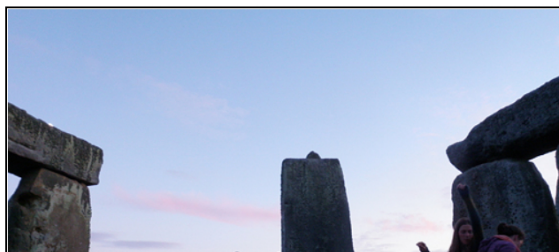
そして、きっと何かのパワーがありましよう。
パワーアップしたかな。



どんどんと、仕事終わりの人たちが来て増えていきます。
サークル内はごったがえしております。

狂喜乱舞。

何やらの太鼓の音や、エルフ風の人、ダンスを踊っていたりと、
各々楽しんでます。





そして、石にタッチ！

耳を当て、石の中にある音を聞こうとしました。
ぎゅって何か聞けたと思います。

あー、サイコメトリー能力があれば楽しいのに。



日が落ちた後も数時間太陽が地平線沿いにいるようです。
なかなかまっ暗にならず、草原の先はうっすらと陽が灯っていました。

深夜暗くなり、むさくさ寒いです！！！！！！

体質が完全にマレーシアになれている自分は
どうやら熱を体内に溜められなくなったのでしょうか。
何枚着ても寒い、寒い。

ところがどっこい、来てる人の中にはTシャツの人々が！？
こっちは震えてるのに、どういうこっちゃ！
なんつータフさ。尋常じゃありません。

朝4時52分の日出まで辛抱。。。。

そして、夜が更けていきます。



2010年の夏至が始まりました。

しかと陽を受けとめました！

まぶしい！



みんな朝日の写真を撮っています。
そして、どっかの一段は一所懸命太陽の気を受けとめてました。
あらなんだったのでしょうか。
そう、この為に寒空の下、凍えながら半野宿して待ってたのですから
そりゃありがたみもひとしお。



朝が明るくなる支度をして、すっかり空が青くなって一日が始まりました。

明るくなったのでよく見えます。やはりすごいたくさんの方が来てました。
聞いていた通り、数万人規模。

ざっとみんな、何かありがたい物もらったのでしょうか。
特別な日ですから。





その後、ソールズベリーに戻り、他の環状遺跡へ。

どこだっけ??
名前を忘れてしまいました。

静かでいいところです。
ひなたぼっこに最適。



考え、思うものはただ一つ、一点のみ。

「誰が、なぜ、いつ、どうやって、この石を置いたのか??」 です。

宗儀的な物? お墓? 意味ない?? 目印? 自然に??

な~~~~~ぜ~~~~~??

気になるばかりです。



そして、ウィンチェスターという小さい町へ行き、ふらふらして、
バブでも行った後、



ロンドンへと戻りました。
東京から小田原とか、箱根とか行ったかんじでしょうか。



楽しいプチ旅行でした。

イングランドへ続く。

post by 徳田 敬太 | 日時: 2010.06.29 | [バナーリンク](#) | [コメント\(3\)](#) カテゴリ:

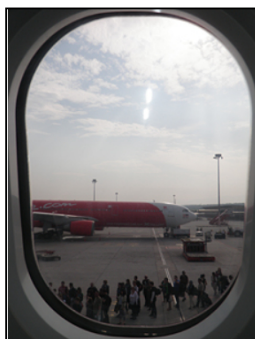
明日はどっちだ > 2010年06月 アーカイブ

10.06.28

イングランド 1

エアアジアにていざイギリス・ロンドンへ。

なんと、まあうれしい旅だこと。



到着早々の感想は、寒い。。寒い。。

曇りが多いとは聞いていましたが、本当に曇りでマレーシア人化してる自分にはすこぶる堪えます。



ロンドンと言えば、フィッシュ&チップス！

食べました。

この後もイギリス伝統料理を果敢に挑戦してみましたが、やはり、結果あれですね。日本人である自分は日本食が一番好きです。





街を歩くときでてる言葉は

「ロンドンやべー。。」

今の自分の基準はもはや日本ではなくマレーシアなので
感嘆しか出てきません。。
良い街です。素晴らしいです。

ずっと昔から積み重なってきた歴史が現代まで続き、
その上を歩いている感じがすごいです。



そして、ストーンヘンジが夏至の日の一日だけ中心の石まで行けて
さらに触れるとの情報をキャッチしたので行ってきました。

ロンドンからソールズベリーまで行き、そこからバス。



の前に、ソールズベリーの街をふらふら。

すごく静かです。

思わず、「うわーっ！ すげ静かだ！」

と言ったら、自分のその声が静寂を破り響いてました。





どこのパブやら、そこいらでワールドカップをやってます。

と、ソールズベリーの駅前のバス停からストーンヘンジへ向けて出発。

日が長いので、日の入りは9時26分。日の出が朝4時52分です。
楽しみ！！



イングランド2 へ続く。

カテゴリ：
post by 徳田 歌太 | 日時: 2010.06.28 | [バナーリンク](#) | [コメント \(3\)](#)